

町の貯金と借金の状況（令和3年度末見込み）

※1人当たりの額は、令和3年3月末の人口21,469人で割った額です。

活力あるまちづくりに必要な財源や借金返済などの財源として貯金を使用しているため、全体的に貯金の額が減る見込みですが、災害などの予想できない経費の備えとしての貯金を増やすように工夫しています。

区分	金額	町民1人当たり	前年度比
貯金	9億9,306万円	46,256円	▲42.8%
災害や急を要する経費に備えるための貯金	5億8,014万円	27,022円	▲5.0%
町の借金返済を計画的に行うための貯金	14億5,915万円	67,965円	▲24.8%
特定の目的（農業や漁業の振興など）のための貯金	30億3,235万円	141,243円	▲6.6%
計	32億4,559万円	147,977円	

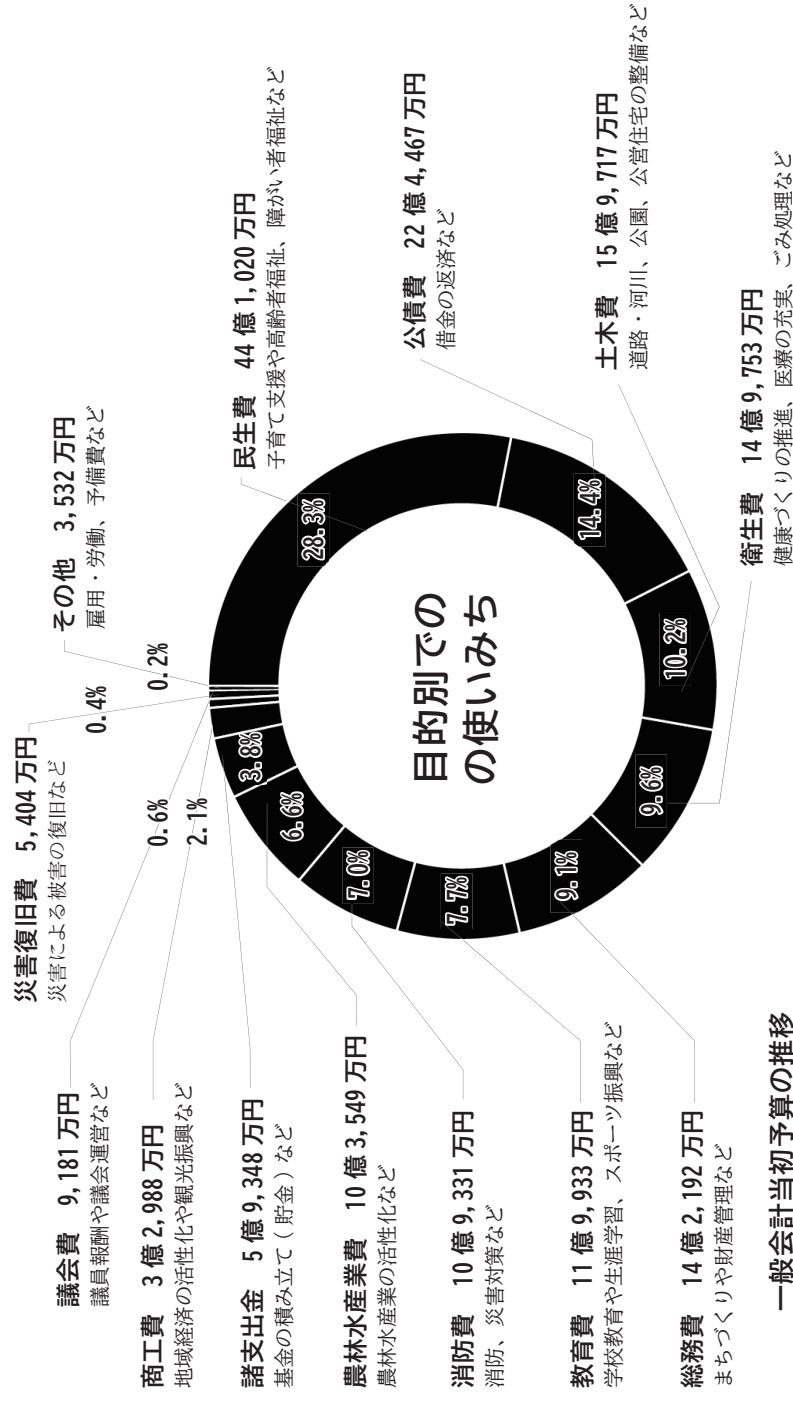
（令和2年度当初予算）

令和3年度は、高齢者施設大規模改修事業や公営住宅建設事業などの借が増えますが、今までの借金を計画的に返済し、全体的に借金の額が減るように工夫しています。

区分	金額	町民1人当たり	前年度比
借金	203億9,570万円	950,007円	▲3.0%
一般会計	55億5,464万円	258,728円	▲14.0%
特別会計※国民健康保険、後期高齢者医療、簡易水道事業、下水道事業	25億6,858万円	119,641円	▲4.1%
企業会計※水道事業、病院事業	285億1,892万円	1,328,376円	▲0.7%
計	287億2,302万円	1,309,580円	

（令和2年度当初予算）

歳出 156億415万円



一般会計当初予算の推移

※平成30年度のみ6月補正後



介護サービス事業特別会計の廃止により、施設運営に係る経費を一般会計に引き継いだため、R2に比べR3が増額となっています。

性質別の使いみち

項目	予算額	構成比	説明
物件費	24億1,671万円	15.5%	光熱水費や施設の管理費など
補助費等	23億5,452万円	15.1%	事業や団体運営に対する補助金など
扶助費	22億8,837万円	14.6%	障がい福祉や児童手当、医療の給付費など
人件費	22億6,177万円	14.5%	職員給料など
公債費	22億4,467万円	14.4%	借金の返済など
普通建設事業費	19億8,775万円	12.7%	道路、公園など公共施設の建設費など
繰出金	11億553万円	7.1%	特別会計の資金運用経費など
その他	9億4,483万円	6.1%	災害被害の復旧経費や貯金、貸付金など
合計	156億415万円	100.0%	

新ひだか町の当初予算

令和3年度一般会計

156億415万円

（令和2年度当初予算 146億8,735万円）

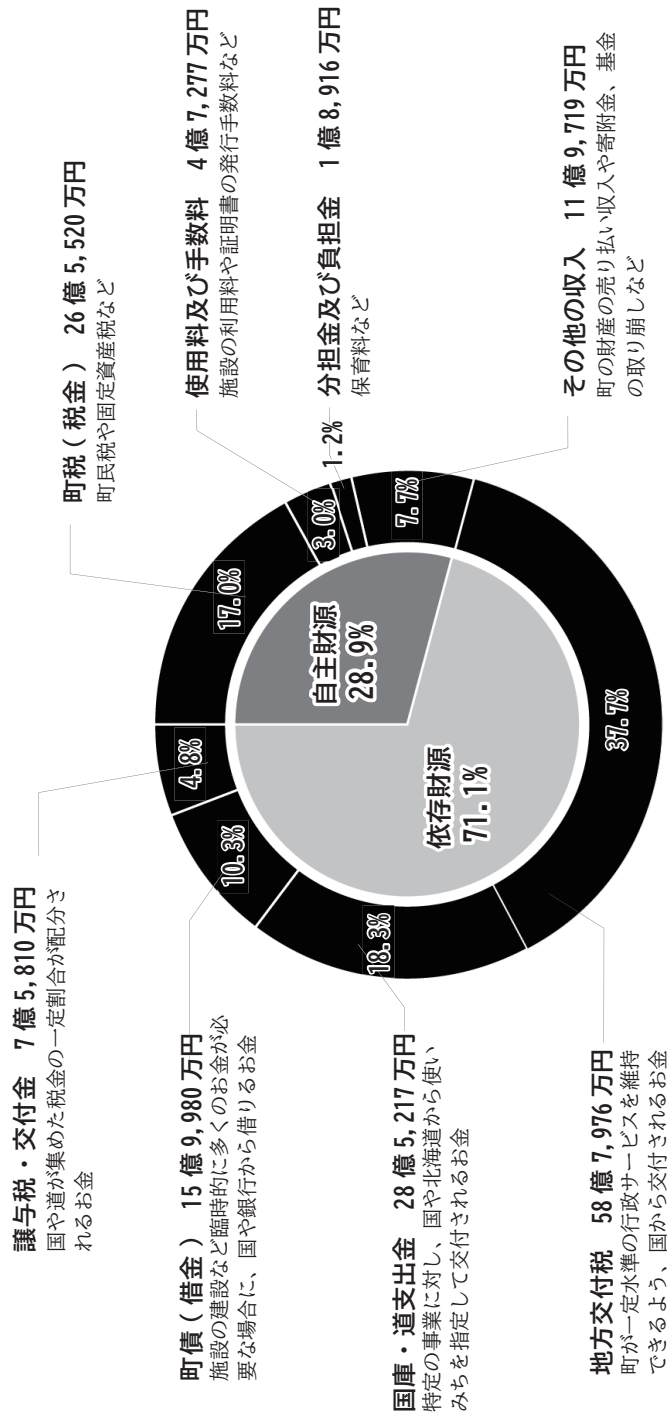
人口減少や少子高齢化などの社会的環境の影響により、税金や地方交付税などの収入が減少していく中、町では、安定した財政運営のため、「経費節約への工夫」や「預金を増やすための工夫」、「借金を減らすための工夫」などに取り組んでいます。

本年度も、限られた収入の効率的で効果的な使い道を考えながら、この町で暮らす皆さんが生涯を通じて「暮らし続けたい」と思えるまちづくりに取り組んでいきます。

問合せ 静内庁舎総務課

☎ 49-02559（直通）

歳入 156億415万円



依存財源 110億8,983万円

（令和2年度当初予算 102億9,652万円）

自主財源 45億1,432万円

（令和2年度当初予算 43億9,083万円）

用語解説

◎自主財源

町が自主的に収入し得るお金

- 町税（税金）
- 使用料及び手数料
- 分担金及び負担金
- その他の収入（財産収入や寄附金、基金の取り崩しなど）

◎依存財源

国、道の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりするお金

- 地方交付税
- 国庫支出金、道支出金
- 町債
- 譲与税・交付金など

